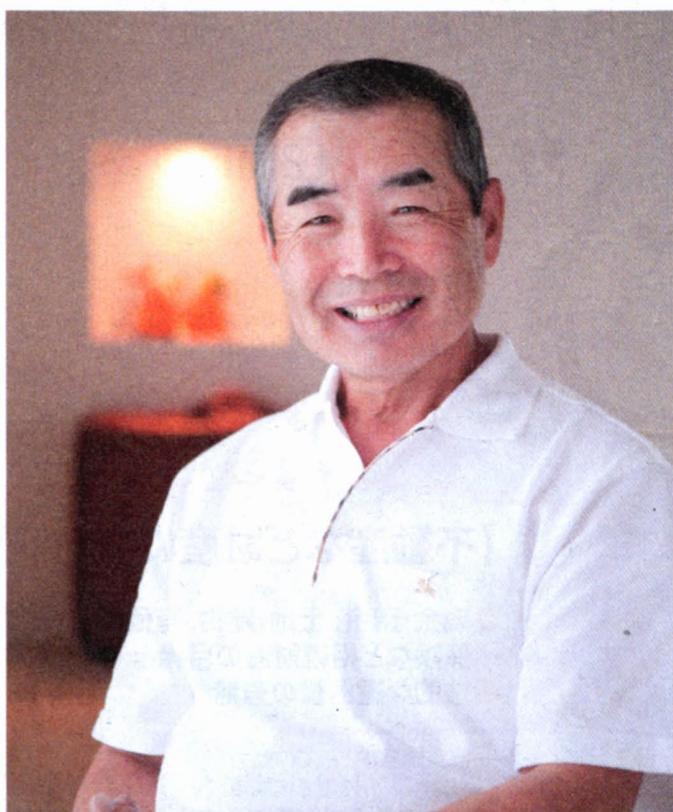


“自分らしい”エンディングを考えて… ◀1面のつづき

「最期のセレモニーは、自分の希望に合ったものを」と望む人が増え、葬儀のあり方も多様化しています。2面では、ユニークな遺影サービスを紹介するほか、最近の葬儀事情について、専門家に聞きました。



カメラの後ろでは、家族が冗談を言って笑わせるなど、和やかなムードで撮影。ずっと残したい、幸せそうな表情の秘訣は、撮影時の雰囲気に

後世に残る遺影は元気なうちに

写真スタジオ「ism」では、以前から完成した家族写真を見て、「ええ顔してるやん!」これ、私のお葬式で使ってね」と冗談交じりに話すお客様も多かつたそう。自然な表情を美しく撮ってくれる遺影

は、生きた証を後世に伝えるメッセージ。その人らしい1枚だけ

自分らしい姿を残すためには、元気などに、大好きな家族に囲まれて撮影するの

良い」「愛犬と一緒に」「タバコを吸っている姿がいい」など、さまざまに希望を聞いた上で撮影します。

同じ楽しい雰囲気で、希望があれば遺影用の写真も撮影します。撮影そのものが、「あのとき、こんなことがあったね」と家族の思い出の1ページに。2、3年に一度の楽しい恒例行事にしている家族もいる

が一番。実際、同スタジオでは、子どもや孫

と一緒に写真や、夫婦の写真など、家族の記念写真を撮るときと

家族に残すためのとっておきの1枚を、自分で選択してみるのも良いかもしれませんね。



家族みんなでの撮影も。大好きな人たちに囲まれると、自然といい笑顔に



教えてくれたのは
ism プロデューサー
石田直之さん
普段着のまま、幸せな時間を作り残す「カジュアルフォト」を提案。

問い合わせ:☎079(281)1929、姫路市本町68
(本町商店街内)